

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 554 号	氏名	裊 成寛
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	川上 純	
	副 査	江口 晋	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、Hepatitis B Virus (HBV)感染による B 型慢性肝炎の臨床的寛解の指標となる HBeAg seroconversion (HBeAgSC) の予測因子を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 1991 年～2005 年の間、長崎医療センターに於いて初回肝生検を行った B 型慢性肝炎 234 症例を対象とし、1 年以内（早期）に HBeAgSC を達成した群（58 例）と非達成群（176 例）について両者の臨床病理学的因子を比較検討することで早期 HBeAgSC に寄与する因子を解析しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、HBeAg 量 100PEIU/ml 未満と肝実質炎 2 以上が早期 HBeAgSC に寄与する独立した因子として抽出された。病理学的因子を除いた解析では、HBeAg 量 100 PEIU/ml 未満と ALT 値 200IU/ml 以上が独立因子として抽出された。HBeAg 量 100PEIU/ml 未満かつ肝実質炎 2 以上を満たした場合は、最も高い早期 HBeAgSC 率を示した。 上記結果は早期 HBeAgSC の予測因子を明確に示しており、臨床的に極めて有用性の高い研究成果と考えられる。</p> <p>以上のように本論文は B 型慢性肝炎診療に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			